

今回は、最近、南河内の里山を歩いていて出会った「カエル」たちを紹介します。

写真 : シュレーゲルアオガエル

体長3cm強の個体です。

水田からやや離れたところにいました。

外来種のような名前ですが、オランダのライデン王立自然史博物館館長だったヘルマン・シュレーゲルという方の名前に由来するそうです。

写真 ~ : シュレーゲルアオガエル(大)

これは大きな個体で、林道脇の葉の上で休んでいました。

体長は5cmを越えていました。

雄は大きくても4cmくらいまでですので、この個体は雌だと思います。

写真 : ヤマアカガエル

体長5cmくらいの個体で、森の中の林床にいました。

冬に産卵した個体は再び春になるまで冬眠するのですが、土にもぐって冬眠するカエルが多い中、「ヤマアカガエル」や「ニホンアカガエル」は水底で冬眠するようです。

写真 : ニホンヒキガエル

体長15cmくらいの個体で、雨の中の林床を歩いていました。

飛び跳ねるところはあまり見たことはありませんが、“のっし のっし”と歩く姿は様になっていますね。

夜行性で、昼間は石や倒木の下などで休んでいるのですが、このときは降雨で暗くなった林内を移動していたようです。

写真 : ニホンアマガエル

体長3cmくらいの個体でした。

水田からやや離れたところにいました。

写真 : トノサマガエル

水田や池の近くでよく出会う種です。

体長は6cmくらいでした。

殿様のように悠然とした姿からの命名だそうです。















